

あなたにとって「あゆみの会」とは？

家族にとって

本人にとって

街中に二人で出かけるのは気晴らしになりますし、皆さまと会うのも楽しみにしています。

発症後の主な交流の場です。アルツハイマーと診断された時は無力感もありましたが、皆さまに助けられ感謝しています。

「あゆみの会は希望です。」

大変有意義な時間を過ごさせていただいています。これからも参加を続けたいと思います。

あゆみの会パートナーにとって

同じ立場の方々とお話しすることで、なかなか言えない、理解されないことを分かち合えるのは本当に助かっています。

外部と深く交流できる貴重な場でした。自分たちの悩みを打ち明けられる場所です。今でも介護者の仲間と続く縁が、救いとなる唯一の場所です。

家族と本人とお話し、みんなで元気になれる場所になればと考えています。楽しい時間を過ごしています。

名古屋の仲間が増え、京都在住でもZoomであゆみの会に参加できたことが嬉しい思い出です。

癒しの場で、大好きな仲間が集う場所です。一緒に笑い楽しむ場として大切にしていきたいと思っています。

集いの場から、つながりの場へ
あゆみの会に参加し続けることは難しくても、その後も交友を続ける方々もいます。

皆さまとつながって、笑顔になる場所だと思っています。これからもつながっていただきたいと思います。

一番、フレンドリーになれる場所です。

特別な態度を取らず、本人、家族、専門職、介護する人もされる人も関係なく過ごせる場です。

一人で悩まずに、一度のぞいてみませんか？

経済的な支援や就労・社会参加など、若年性認知症の人のサポートに特化した「若年性認知症支援コーディネーター」を配置しています。

お問合せ 名古屋市認知症相談支援センター
〒466-0027 昭和区阿由知通3-19 昭和区役所6階

TEL:052-734-7079 FAX:052-734-7199
メール:n-renkei@nagoya-shakyo.or.jp



名古屋市認知症相談支援センターマスコットキャラクター



名古屋市若年性認知症本人・家族交流会

あゆみの会

10年の軌跡



若年性認知症の人やその家族は、同じ立場の人と出会うことが難しく、社会的に孤立しがちな状況にあります。「あゆみの会」は、当事者の居場所・情報交換をするピアサポートの場として平成25年10月にスタートし、このたび10周年を迎えました。会の名称は、「仲間とともに、一歩一歩あゆんでいく」という思いを込めて参加者が決めました。

毎月第4土曜日に開催している定例会だけでなく、講演活動やボランティアなどを行いながら、本人や家族、そしてあゆみの会パートナーがお互いを理解し合いながら交流しています。

ピアサポートとは

医師がレクチャーしたり、専門職が相談に応じたりするのではなく、同じような立場の同士が情報交換し、交友を育みながら仲間同士で支え合うことです。

あゆみの会パートナーとは

若年性認知症の人や家族に友好的で、「思いをともに、一緒に時を過ごしたい」という気持ちでボランティアとして参加する協力者です。

